

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域ケアプラザの担当する地区は、ひぎり地区連合自治会地区と丸山台自治会地区で、人口は合わせて約16,000人(ひぎり地区約9,000人、丸山台地区7,000人)、高齢化が進展し高齢化率は30.0%(ひぎり地区32.2%、丸山台地区27.2%<2020年9月>)となっています。今後さらに高齢化が進展し、特に後期高齢者の割合が増加することが予想されます。  
今年度の大きな課題の一つは、第4期地域福祉保健計画がスタートする年度となるため、コロナ禍ではありませんが、感染予防に十分注意しながら、地域とともにできることを検討し、やり方を工夫して、第4期計画の広報や事業推進に事務局として取り組んでいきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ひぎり地区は、第4期計画を推進する5部会1委員会(健康づくり、障がい、高齢、子ども青少年、活性化、交通)の事務局として、地域主体で取組む部会活動やウォーキングイベント、居場所交流会など様々な事業の実施を支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	丸山台地区は、老人クラブや商店街と連携して事業を行うとともに、自治会ともさらに連携を深めていき、災害時要援護者支援や助け合いネットワークを自治会単位で立ち上げるなど課題の解決に向けて支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍で男性グループの活動もグループにより様々です。昨年度開催した男性グループ交流会に参加したグループを中心に、今後の活動を検討する検討会を開催し、新しい活動を支援します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	担当エリアでは移動販売が実施されていませんが、買物支援のニーズはあります。そこで配達をしている商店とそれを必要としている人のマッチングや、ネットショッピング方法の勉強会などを開催し、買物支援をしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度の新規事業のうち「歌ってキラキラ」は、コロナ禍のため1年延期し、今年度からスタートしました。感染予防に十分配慮継続していきます。また「にこにこひろば」は、昨年度途中から定員を制限し感染予防をしながら開催し、毎回定員一杯になっています。今年度は、パパと子を対象にしたひろばや0歳児親子を対象にしたひろばなど、工夫をしながら拡充していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

ひぎり地区では、地域ケアプラザ職員が5部会1委員会の事務局を担い、コロナ禍でもほぼ1年を通じて活動することができた。5部会1委員会の一部の事業は実施できなかったものの、可能な事業は地域が主体となり事務局が支援し実施することができた。丸山台地区では、コロナ禍で休止になる活動もあったが、自治会ごとに行われた推進会議に参加し、助け合いネットワークの今後の展開方法をまとめることができた。  
男性グループの支援については、検討会や他地区取組の見学会は実施できたが、新しい活動までには至らなかった。買物支援については、地域で検討するなかで移動販売を実施しようという取組がスタートした。できるだけ早く実現するよう地域ケアプラザとして支援していきます。  
「歌ってキラキラ」や「にこにこ広場」などの自主事業については、参加人数を制限するなどコロナ対策を徹底して、計画通り実施することができた。

区からのコメント

8050問題など複合的な課題を抱えた世帯への相談が増える中、様々な関係機関と相談・連携し対応いただいています。引き続きつなげる支援と合わせて、地域で見守る取組の支援も継続していただければと思います。介護予防の取組では、オンラインを活用した講座を開催することで、外出を控えたい高齢者や日頃参加につながりにくい男性へのアプローチにつながりました。また、地域人材の協力を得ながら、住民主体の通いの場や元気づくりステーションがコロナ禍でも継続できるよう支援していただきます。サービスB事業者といった身近な活動の場での認知症の講座をきっかけに、家族のつどいに新たな参加者が増えることとなりました。また、参加者のニーズに合った内容を検討し工夫していただくことで継続参加される方が増えました。

令和3年度もコロナ感染防止のため、諸室の貸出しや相談業務、各種事業の実施など年度を通じて流動的な対応が求められました。そうした中でも、地区別計画の推進を通じた地域づくりに向けて、区役所や区社会福祉協議会とも連携しながら、各種の取組にご尽力頂きました。引き続き、地域の皆様の期待に応えられるよう、適切・健全な施設運営をお願いいたします。